

平成24年度公益財団法人杉山検校遺徳顕彰会 事業報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

定款第2章第3条の目的達成のため第4条の事業を「杉山総検校和一の遺徳の顕彰に関わる事業」と統括して以下の事業を実施。

1 学術研究に関わる事業

1. 学術講習会：神社本殿。講師・松本俊吾氏、日本伝統鍼灸術の神髄を「杉山流3部書『療治の大概集』」
第1回5月20日、第2回9月16日、第3回1月20日 参加各20名余
講演資料は「筑波並木点訳の会」支援作成
2. 春の交流会：杉山鍼灸治療所開設試行報告（寺崎直）、厚生労働大臣表彰を受賞の富田清邦氏による地唄についての講演と演奏（3題）。1月20日神社本殿、参加45名、
3. 鍼灸講習所の復興：関係者らの技術向上と伝統医療技術の継承を目的に「杉山鍼灸治療所」を神社地内に設け試行的に開設。毎日曜日、54日開設、12名余の支援協力者と研修生5名ならびに学生見学実習10数名が研修。

2 情報提供に関わる事業

1. 広報「杉山」の年4回発行と配布：4月、7月、10月、1月。点字版・墨字版各300部。本年より墨田区ボランティアセンター「点訳きつつき」の支援をいただいて発行。
2. 機関誌『敬神暦』発行と配布：「平成25年版敬神暦」を内容を一部補正して10月に3500部刊行し実費配布。
3. 杉山検校に関わる遺著の刊行
 - (1) 啓発図書「『杉山和一』目の見えない人たちを救った偉人」：学校図書センター151冊、その他10数冊配布し啓蒙に努める。
 - (2) 編集発行できなかつたものは次年度に計画する。

3 顕彰に関わる事業

1. 「第82回杉山検校を偲ぶ会—鍼管感謝の礼—」：5月20日（日）、江島杉山神社本殿、参加50名余。
杉山和一が考案した管鍼術の効用に感謝し、日頃使用している鍼管を大切に扱うことを目的に「鍼管に感謝する礼」を実施。
鍼管感謝の礼、来賓挨拶に続いて、琵琶演奏（後藤光樹）、

講演「世界音楽としての琵琶楽」 ジョージ・W・ギッシュ（青山学院大学名誉教授）を開催。

2. 「治療鍼に感謝の集い（鍼供養）」： 9月16日（日）、参加44名余関係団体と連携して日頃使用している治療の廃鍼を回収し、鍼供養塔ならびに和一墓所のある萬徳山弥勒寺で実施、後、高橋昇造氏（東洋はり医学会元副会長）による講演「和一の歩いた道中記」を開催。

3. 「第7回サイトワールド」への参加

・「江戸時代二人の盲偉人の心…杉山和一と埴保己一…を支えた人たち」

共催：公益財団法人杉山検校遺徳顕彰会・公益社団法人温故学会

講演『二人の盲偉人の心』

「杉山和一」高橋昇造 「埴保己一」小出明 「纏め」安富ナオ

<会場：墨田産業会館サンライズホール>

展示および足立区・墨田区の6名の協力を得て「ツボ体験コーナー」を行う（体験者96名）、来場者200名余

4. 史跡並びに古文書などの公開

(1) 惣録屋敷史跡「施設江島杉山神社」見学者への公開：杉山検校の遺徳の解説、弁天修業の岩屋など史跡ならびに鍼灸・あん摩に関する古医書などを公開するとともに、萬徳山弥勒寺の杉山検校墓所および鍼供養塔を紹介して、遺徳の顕彰の啓発に努めた。

(2) 史跡保存維持： 江ノ島の史跡和一墓所および高野山金剛峯寺の和一墓所、ならびに弥勒寺の和一墓所・鍼供養塔の保存・管理。

5. 顕彰活動支援

(1) 各会員グループへの支援

(2) 友好団体との顕彰活動

○神奈川県関係団体主催の杉山検校報恩会との顕彰： 江ノ島の史跡地において、神奈川県師会開催の和一遺徳顕彰事業と交流。5月、藤沢市江ノ島

○東京都盲人福祉協会福祉大会での啓発、10月

6. 郷土文化活動への協力・支援

(1) 施設の運営支援：江島杉山神社の運営について地元町内会を支援し地元と交流を深める。

(2) 地元文化支援事業： 神社が企画する行事を支援する。

○①4月29日・30日 地域活性化のイベントである「両国にぎわい祭り」に参加。

財団の古書・資料などを展示公開。ツボ体験コーナーを設け、杉山鍼按治療所を開放する。 ○神社行事に随時参加。

4 その他

1. 公益財団法人への移行認定申請：平成22年3月20日内閣府に電子申請を行う。平成24年4月1日移行が認められる。当日に登記。

2. 杉山和一生誕400年記念実行委員会：第18回（6月）、第19回（3月）に開催し記念事業の推進を図る。建設地と設計図面および資金などを町内会と検討する。町内会から2月の覚え書きが示された。現建物中の駐車場からの神社への補填について、課題を残し今後更なる検討を図ることとなる。

以上